

刊夕日四廿月一十

常警每日新聞

定価一冊十
 月刊金五拾錢 郵税五厘
 廣告料五號十二字 行金五拾錢
 日曜祭日の翌日休刊
 發行所 常警毎日新聞社
 印刷所 常警毎日新聞社



真繼雲山

(一)

一切は如來なり
 法性法身は眞如の體にして素と不去不來であるも、その一如より衆生を救ひたいとの誓願に報はれたまへる身を報身如來といふのである、その報身如來を阿彌陀佛(譯して無量壽無量光)といふのは如來の本地が無量壽無量光だからである。ひとり如來の本地が然るのみならず、われわれ凡夫の本地(生れ故郷)もまた光壽ともに無量である、佛の故郷と凡夫の故郷とが同一であるといふことは衆生が悟つたならばそれは佛の自内證にひとしいことである

高月會句抄

蕎麥

みそか蕎麥夕餉の卓を圍みけり
 夕霧の小川に沈むこぼれそば
 盆もなし疊の上の走りそば
 秋さひて雪には早きそばの花
 小山越えて野邊になりぬそば鳥
 吹き荒さむ秋の夜蕎麥や花の街
 新蕎麥や汁さめつれと基打客

閑月 紅果 良亭 石水 良亭 石水 胡晴

ノット

猫背の人は帯のずれ易いものですが、しよい上げをする時に後の帯の結んだところに別にもう一ツ小枕を當て、おいてしよい上げで押へると、すれることがなく猫背の形をよく見せます

二明日の献立二
 【朝】じやが芋 葉付かぶのみそ汁
 【晝】いしもちのフライ
 【晩】かまぼこ うぐいす菜 しひたけゆばのわん
 るべし、信心獲得して不退の位に入つたものはそれがそのまゝ無上涅槃であり、法身であり、一實眞如の體であることを…… (つづく)

話笑

妻「ネエ、貴方 網の帯を一本 買つて下さいません？」
 夫「網の帯を買つたところで、明石かなんか、恰好な着物がなくつちや變ぢやないか」

妻「ぢあ、明石をこしらへて下さいな」
 夫「明石をこしらへたところで、網の帯がなくなつちや變ぢやないか」



常警歌壇
 仲田 ゑい

長き夜をどの痛みて早眠するこの二三日の物足らなさよ
 學舎で二日徹夜し病みたりしその名残にてのど痛むらし

般一物質 類券債種各
店質井三
 岸川目丁四町平 番六〇六話電

市原醫院
 平町田町 電話一四番

藥妙病腸胃
 昔ハ料理ニ必ズ「シ、茸」ヲ用タリ今ハ「マリ」使ハズ甚不都合ノ次第ナリ「シ、茸」ヲ煎ジ臥寝前ニ服用スレバ胃腸ヲ整ヘ便通正シク氣分爽ナリ諸病ヲ未然ニ防グ効能アリ人助ノ爲メ廣告ス此ノ秋は茸類ノ出ル時節ナレバ新葺程効能著シ各家庭ニテ百匁位ツ、常備シ置ク事肝要ナリ

吉田眼科病院
 平紺屋町、電話六八番

漆器の御買入時
 漆器は空前の大暴落を致して居ります。再び得難き最低絶好の御買入時です。
 (共)は漆器を専門に在庫品を豊富に取揃へ
 各位の御満足を得るに努力致して居ります此の絶好機に御求めを切に御奨め申上げます。御満足を得るやう！如何様にも御相談に應じます御照會を。
 (共) 各國産漆器専門卸小賣 共榮漆器店 (平町三丁目36元郵便局裏通) 店員募集 十二三才...小役員優遇 三十才迄...外交員

第二小學校 標準服
 輕快で丈夫な第二小學校通學用標準服を豊富に取揃へ 下記の最廉價にて提供
 スカート付 3圓10錢ヨリ

ふかや洋服店 平二・電203

産名城警 出賣節對 魚問屋
 代理代平命生本日大最優最 榮盛賀志 番三一電 目四平

石炭の運賃値下に

四千名が連署

従業員も結束して起つ

数々の困難を陳述

常磐各炭礦の死活に關する鐵道運賃の値下問題は其の達成運動益々猛烈となり目下従業員四千名が左記請願書に連署し來月四日頃十五炭礦代表者が地方縣議案内の許に出縣して赤木知事に是れを提出し達成方の助力を乞ふ事になつて居る

石炭輸送鐵道運賃は大正六年まで常磐線綴驛、東京隅田川驛間一噸一圓七十八錢なりしを大正七年一舉に二圓七十錢に引上げ

續いて大正十年には一噸三圓二十錢と急劇なる値上を實行せられ當時炭礦業者は引上の高率妥當ならざるを主張したるも鐵道當局者は「石炭一噸に付炭礦業者は十圓の利潤あり」と稱して採用せられず以來屢々是れが引下方を陳情したるも未だ

其實現を見るに至らず今日に及び、爾來一般財界不況と共に石炭礦業も打撃を受け積年不振の一路を辿り既に倒産廢業するもの相踵ぎ極度の悲境は多數の失業群を生じ、由々敷社會問題を惹起するに至り

前後の粉炭に對し常

に四圓八十錢の鐵道運賃を支拂つゝあるの現状に見ても思ひ半に過ぐるものあらん、石炭運賃は鐵道收入の高位を占むるの理由に依り鐵道省は收入不足の折柄之れが實現の如きは困難ならんとの意見あらんも常磐炭の塊一噸賣上原價は鐵道運賃の平均額に略々伯中するの高率にして如斯運賃を拂ふ貨物他に比儔するもの無きを信ず、依て我々常磐炭礦業者は是等

危機に瀕しつゝある

時に於て鐵道運賃の改正を實行し特定運賃の制度と長距離遞減率の増加等臨機の

遭難漁濱の

義捐金續々集る

橋入太郎 十圓片倉製糸 十五圓上田耕作 十圓柏原幸次郎 十圓百澤易興 十圓猪狩庄平 同阿部唯次郎 同野崎自動車 同久野ひさ 同大和田郡司 同川井重三 同難波陸

廿五圓山崎與三郎 五十圓關平支店 三十圓諸

慰問使の縣議一行

郡下被害地を歴巡

山形屋に一泊本日は四倉町の被害調査に出發した

俵米品評

勿來の催し

石城 勿來町農會では來る

磐中先づ一勝

昨日の磐中對平商第一回戰

熱狂！渦巻いて

息づまる大接戰

小井戸主將がホームラン

遺族に

弔慰金

漁業組合と救濟會から

石城郡江名豊間の各漁業組合では今回の遭難者遺族に對し一人宛三十圓また船主よりも三十圓平均の見舞金を贈る事となつた尙小名濱水産試験場内水難救濟會にても溺死者五十六名の遺族に十圓宛の弔慰金を贈ると

農作物審査

四町村が聯合

石城郡江名町農會では來る廿九日午前十時より小學校に於いて小名濱、鹿島、玉川各町村聯合の農作物品評會を催す筈

廿六七の兩日小學校に農作俵米品評會を開催すべく既に受付を開始したが現在五百餘點の出品があると

昨日の磐中對平商第一回戰

熱戰にて來る廿六日の第二回戰には再び一大接戰を展開するであらうと因當日の兩軍得點左の如くである

中	0010000062
磐	一二三四五六七八九
平	200110040
商	8
中	9
磐	A

平商再び優勝の榮譽を擔ふか？恨みをのんだ磐中の雪辱成るか？興味を惹く焦点として磐陽球界より期待された磐中對平商定期第一回戰は昨廿三日午後一時よりフアンの熱狂渦巻く磐中グラウンドに於て平商先攻に依り開始、商業は

前半戦に 於て一回に二点四五兩回に二点、計四点を擧げて磐中三回の一点を押へりリードの餘裕を見せて居たがラッキーセブンに入るや俄然磐中は打撃の底力を猛烈に發揮して一壘手田中の三壘打其他の好機會に見舞はれ一舉六點を得たが平商も去るもの八回に四點を

奪還して 磐中の追撃を押へて居た處九回に磐中小井戸主將のカツ飛した一撃は伸びて見事にセンターを抜く本壘打となり二點を加へて九A對八となり平商を破つて磐中先づ一勝を得たが守備の商業打撃の磐中と稱せらるるだけに兩軍の

政守振り は正に過般行はれた早慶戦に、た

處置を熱望するものにして他に炭礦更生の途なしと痛感するものなり、以上述べらるる處に依り之れを考察するに石炭礦業者の倒産は直に以て地方産業の破壊となり失業群を續出し延て町村自治体の圓滿なる發達をも阻害するに到ること

必然の結果にして一日も速かに此危急を救済せられんことを切望してやまざる次第なり、冀くは閣下親しく主務省に對し石炭輸送鐵道運賃の値下を速かに執行相成様御盡力相願度吾等常磐石炭鐵道運賃値下同盟會員及之れが従業員一同連署の上右謹で請願候也

鎌倉時代のもの？

館跡から白骨現る

東京に送つて鑑定を依頼

石城郡好間村大字愛谷字堀の内植木業西木城一九九方で数日前自宅附近の大平館跡の傾斜地に温室を設ける爲め地下六尺餘りを掘起した處鐵製鍋の逆伏して居るのを掘當て鍋を起して見ると

相当古代らしい人間頭部の白骨及び矢之根等を發見したが同所が昔し館跡であつた事から見て或は鎌倉時代のものではないかと近く東京の鑑定家に鑑定を依頼する

國防の第一線に

起つ勇士の譽れ

參集者の熱狂的感激

けふの送別會に

青沼町長の送辭

既報本日聚樂館に開催された平町入營軍人送別會は軍國氣分の横溢して居る折柄國防の第一線に立つ勇士の行を壯ならしめねばならぬとの意氣込みを示して參集者頗る多く熱狂的感激に満ち溢れて居たが席上朗讀した青沼町長の送辭左の如くにて言々々々惻々として人の胸を打つた

惟ふに國防の要諦たる進んで他國の侵略し好んで争亂を惹起せんか爲に非す又以て平和を攪亂人道を蹂躪し敢て非違暴虐を遂げんとする者あるに及ひ敢然起つて破邪顯正の劍を執り内國家の存立繁お榮を圖り外四海の平和を確保せんとするに在り國防の緊要須雙も缺くべからざる所以實に茲に存すと謂ふべし、抑々人道を尊重し正義を擁護し人類平和と國際親善に寄與すへきは和民族の使なると共に我建國の一大精神にして三千年の歴史燦として之を證する然るに隣國支那に國際信義を無視



今晚も明日も此西の風晴れたり曇つたり

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
お伽漫談 徳川夢聲
後七、〇〇 講演 アメリカ職業野球選手
後八、三〇 祭禮ばやし
南部ばやし 四戸みつ外

後八、五〇 連續講談「田宮坊太郎」第一席 早川燕平
後九、三〇 滿洲より「滿洲音樂又は演藝」新東京より
後九、四〇 全國ニュース
氣象通報 番組豫告

明日の部

前九、一〇 料理献立「いわしの揚揚」村井多賀子
前一〇、三〇 家庭講座
後一〇、五〇 但謡 博多民謡 博多中檢
後一〇、二〇 箏曲「筑紫琵琶」
平井松哉外
後二、〇〇 婦人講座「白米病について」醫學博士 平石貞市
後五、〇〇 受驗講座「漢文」塚本哲三

後六、〇〇 子供の時間
お話「磁石」大貫頼次郎
後七、三〇 講演 外務省條約局長法學博士松田道一
後八、〇〇 放送新派劇 都築文男 木下吉之助一席
後八、五〇 連續講談「田宮坊太郎」第二席 早川燕平
後九、三〇 日本棋院秋季大手合戦績

診療自動車

第二次巡回

郡内町村の日程

既報平署に常置された巡回診療自動車は來月二日相馬郡を振り出しに第二次の巡回診療を行ふ事になつたが郡下町村の巡回日程は左の如くである

鹿島(十二月十七日)箕輪(十八日)水戸(十九日)川前(廿一日)荷路夫(廿二日)貝宿(廿三日)石住(廿四日)

宿屋泣かせ捕る

各所で踏倒し常習

平驛前福住旅館に昨廿三日宿泊した新潟縣中蒲原郡岡泉町生れ當時住所不定小林與太郎(五)は今朝宿代二圓六十錢餘を踏倒して逃走せんとした處を捕えられて平署に突出されたが取調べの結果双葉郡久之濱町吉田屋旅館で宿代三圓六十七錢を踏倒した外無錢宿泊を常習にして居た事判明目下嚴重

取調中
白鳥神社
奉納弓術
修築記念に
石城郡磐崎村白鳥鎮泉神社の拜殿は豫てより同村有志に依つて修築中の處此程竣功を見たので來る廿七日午

警察署に

裁判所敗る

昨日の野球初試合平警察署對平區裁判所チームの野球戦は昨廿三日午前十時より第一小學校庭に行つたが平署チームは攻守共に壓倒的優勢を示し十三對零のスコアで大勝した

平職業紹介所報告

回人を求める方
△女中 三十才 尋卒 月六圓(平町某)
△兒守 十六才 尋卒 給料面談(平町某)
△出前持 二十才 尋卒 月五圓(平町某カフエー)
△回職を定める方
△土工夫 十八才 高卒 給料面談(平町某)
△給料面談(平町某)
△雑婦 五十才 尋卒 給料面談(平町某)
△揮球ゲーム取 十九才 高卒 給料面談(内郷村某)

米値暴騰

這般の被害にて 減少を見越され

俄然一俵八圓四十錢

平穀物検査所管内の米値は圓八十錢であつたのが今回去る廿日迄四等一俵に付七

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第二百七席 平手造酒

捨ぜりふを残して

清瀧の佐吉から又藏の事

を話されて勢力富五郎が

富「こゝはお主の云ふ通り

又藏のすることは無粋だ

オイ又藏よく考へて見ろ

雛鶴がお前の金を盗つたに

した所でこれを役所へ突出

せば金の出所を調べられる

賭場で儲けた金だと申し立

てるも出来なからうと云つ

て捨つた物とも云へぬえ

よし雛鶴に馴染の男が罪あ

るにしたと矢張りお

主も不正な金と認められて

咎めを受けずはなるめえ

を叩いて蛇を出すとはこの

事だ、まア、此處は穩か

にした方がよからう嘘を賣

物にして客から金を貰ふは

泥水を呑んである女の事

で此處へ来た譯ではござい

ません、餘りあいつ等が甘

く見やすから」

富「甘く見られるやうにな

れば立派な客だ、馬鹿にな

つて遊ぶが此の席の習ひ、

まア、お前は好い男だ、

雛「さうでございますか、

此處へ出て来な、もう話は

付いた」

雛「親分お世話になりました

と済みませぬね」

と留次郎と二人で衝い立

の後から出て来た、勢力は

又藏に益をさし

富「一ツ飲むがよい、オイ

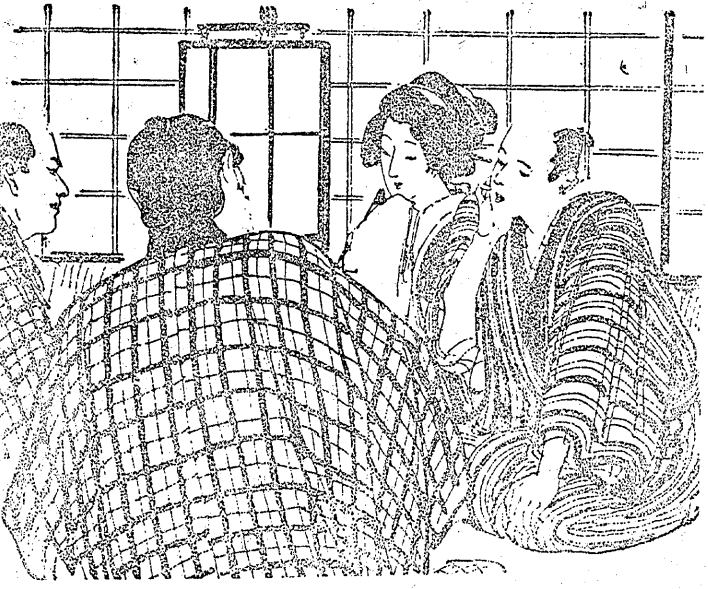
雛鶴さんこの又藏は飯岡の

若い者の中で一二の指を折

られる兄株だ、判れぬえ人

間ではぬえ、定めしお前

方も聞いてゐるだらうがだ



ふな、その金はくれてや
れ」
又「さうでございますか思
め、しいが仕方がぬえ、
小遣にくれてやる、有難く
思へ此奴等飽までも甘く見
てゐるやがな」
富「まア、さう怒るな女
にふられりや間違ひはぬえ
この客人のやうに思はれる
と末はとんだ事になるサア
早く歸るがよい、永居をし
ては爲にならぬえぞ」
又「覺へてゐるやがれ」
云ひ捨て又藏は出て行つ
た後で勢力が雛鶴と留次郎
に向ひ
富「もう又藏は引上げて了
つた、所でこの留さんと云
ふ客は何處の者だぬ」
雛「新生の小間物屋さんの
若旦那ですよ」
富「新生の小間物屋の息子
だと、あれには以前俺達同
様の無頼者であつた留吉と
言ふものが小間物屋店を開
き今では堅氣になつてゐる
がこの人は留吉どのの仲か
の」
言はれて留次郎が
留「左様でございます、私
の親父も元は貴郎のやうな
無頼者でございましたとか
然し満更馬鹿でもございま
せんから商人になりました
何うやら今では奉公人も置
き危い思ひもせず氣樂に世
を清つて居ります」
富「留吉どのは例かうだな
あの例かうな親父さんを持
つてゐながらお前のする事
は賢いとは云へぬえ」
留「へエその説はもつとも
でございますが、この雛鶴

に想はれましたか身のつま
り私が一息参りませんとこ
れが病氣になりましては
と按置で漸く命をつないで
たまさかに會つてこなたに
甘えようと思つてゐる所を
さかさまにそりやむごらし
いどうぞへなと言ふわけ
で」
と留次郎は惚氣出したが
イヤ富五郎に佐吉は大へん
な奴とあきれいています

毎度御ひいき
有難ふ御座ります
うなぎの御用命は
うなぎ
平町田町(電話二二番)
ホール御座敷の設備あります。皆様の御立寄を!!

中村齒科醫院

平町鍛冶町七

木村外科醫院
平町五丁目橋際
電話三〇九

外科

専門線X
科線光

上田外科病院
平町南町
電話二一九番

耳鼻咽喉科専門
氣管食道科
平南町(電話一七〇番)
大和田醫院

内科
醫學博士 難波陸
平町新川端(釜屋新宅向)
電話五〇二番

旅行カバンと毛布

御旅行と散策の秋が参りました。
馬鹿くしい最近の値上りを外に
格安品を豊富に取揃へました。
毛布と一枚物二枚續き等今が絶好の
お買時です……

平手ヤルツ
電話一〇四